

2026 年 7 月 8 日

ヤマハギターの歴史と進化を“聴いて・見て・触れる”体験型展示
JR 浜松駅新幹線コンコースで
「技術×感性 ヤマハギター60年の軌跡」展示開始

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、JR 浜松駅新幹線改札内コンコースの小展示ブースにおいて、新展示「技術×感性 ヤマハギター60年の軌跡」を2026年7月13日(月)午後から開始いたします。



新展示「技術×感性 ヤマハギター60年の軌跡」イメージ

ヤマハギターは、テクノロジーとクラフトマンシップの融合によって、60年にわたり革新を重ねてきました。当社は今回、ヤマハギター60周年を記念して、培われた技術と感性を“聴いて・見て・触れる”ことができる体験型の展示を行います。過去のギター製品のカatalogを展示するとともに、現行のアコースティックギターやエレキギターなど計8点を展示し、ヤマハギターの歴史と進化の過程をご紹介します。

さらに、アンプやエフェクターなどの周辺機器を使用せずに生音に豊潤な響きを付加することができる「トランスアコースティック™ギター」のBluetooth®機能を活用して、本体から再生される音と振動を体感し、構造や仕組みをご覧ください。

この展示を通じて、当社が掲げているブランドプロミス“Make Waves” — 「音・音楽を通じて心震える瞬間を創り出す後押しをする」 — を表現し、体感いただくことを目指しています。

＜展示の概要＞

- ・展示名：「技術×感性 ヤマハギター60年の軌跡」
- ・期 間：2026年7月13日(月)～2027年6月25日(金) 予定
- ・場 所：JR 浜松駅新幹線改札内コンコース 小展示ブース
- ・体験・展示内容：
 - 「トランスアコースティック™ギター」の振動に触れ、生音が響く仕組みを知る
 - 現行のヤマハギターに集積されたテクノロジーとクラフトマンシップを知る
 - 過去の個性豊かなギターカatalogを見て歴史を感じる

今回の展示は、深緑を基調に、木の温もりを持つギターが映える空間としました。通路側には目を引くメッセージを配置し、来場者を自然に展示へ導きます。展示ケースの解説グラフィックにより、ギターに込められた技術や工夫を直感的に理解することができます。また、ベンチに座り、トランスアコースティック™ギターから生音で再生される音楽にゆっくり浸ることもできます。

- ・ JR 浜松駅コンコース企画展示 :

https://www.yamaha.com/ja/about/community/hamamatsu_station/

- ・ ヤマハギター60th Anniversary :

https://jp.yamaha.com/products/contents/guitars_basses/guitar_60th/index.html

■ 展示製品

- ・ トランスアコースティックTM ギター 『TAG3 C』
- ・ アコースティックギター 『LS16 ARE』
- ・ エレクトリック・ナイロンストリングス・ギター 『NCX3』
- ・ エレキギター REVSTAR PROFESSIONAL 『RSP02T』
- ・ エレキギター Pacifica SC Professional 『PACP11S』
- ・ サイレントギターTM 『SLG200N』
- ・ エレキベース 『BB734A』
- ・ デスクトップアンプ 『THR10II』

各製品の詳細はこちら :

https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/index.html

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当: 佐藤歩 TEL. 053-460-2210

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)
